



景百延幌

撮影者/山下 智昭



純白の利尻山



夕暮れのサロベツ双枝木



光と影

窓の裏のほろ

■すでにお気づきの方が大半のこととは思いますが、広報誌は今月号から全ページ2色印刷になりました。担当者としては残念なことです。町の厳しい財政状況を受けての経費削減に伴うものであり、いたしかたないことであると思っています。

■ただ、担当的に申し訳ないなあと思っていることがあります。今月号ではたまたま載っていませんが、わが家のエンジェルでご紹介させていただいている赤ちゃんの写真についてです。せつかくのかわいい赤ちゃんです。

■すから、カラーで載せてあげたいのですが、こだけカラー写真というわけにはいかないもので、これからは白黒写真になっで、まいります。ごめんなさい。今のうちから謝っておきます。

■逆にホットしている事も一つあります。それはこの裏窓のコーナーです。先月までカラーページを使って、取材ごぼれ話のようなことを堂々と書いていました。しかし、貴重なカラーページを四分の一も使っていないものなのか？という疑問は常に持っていました。その一方で

編集後記という意味合いも含めたものであることを考えると、やはり最終ページに割り付けるのが妥当なのかなとも思ったりして：あれこれ悩みましたが、このような形で解消されることは、なんとも皮肉なものです。

■何はともあれ広報誌はこの2色刷りで続いていくことになりました。確かに見た目の質は落ちたかもしれませんが、内容の質までは落とさなないように努めていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

● 広報誌へのご意見 ご要望をお寄せください ●

振興課企画広報係 ☎ 5-1111 【内線】223・224

ほろのべ自律プラン策定住民会議だより 町長に「ほろのべ自律プラン」が答申されました

「ほろのべ自律プラン策定住民会議」では、平成16年10月31日に町長から委嘱を受けて以来約半年間、それぞれの部門ごとのワーキング・グループで熱心な議論を重ねてきました。

3月13日、最後の住民会議が開催されて、「ほろのべ自律プラン」が満場一致で決議されました。会議終了後、その場で田中徹男会長より町長に答申が行なわれました。

田中会長は「本答申を尊重し、元気に暮らせる「ほろのべ」の創造に尽力ください」と述べ、町長からも「自律プランを最大限尊重し、行政改革を進める」とあいさつがありました。



この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。